事務事業実績測定調書

事務事業名称	公共下水道（雨水）整備事業									
測定年度	2020（R2）年度			部	上下水道部			課	雨水整備課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名	1-3.水施策の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1958（S33）年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	下水道法、都市計画法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道排水区域内の市民			
	サブターゲット	公共下水道排水区域内の事業者			
	ターゲットが抱える課題	降雨による浸水被害の発生。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	雨水計画に基づき、浸水被害が軽減されている状態。				
事業概要	公共下水道排水区域（寝屋川北部流域関連3排水区、淀川左岸流域関連18排水区）の住民を対象に、排水施設の整備を図り、浸水被害の軽減を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	浸水被害が軽減される。	排水施設の整備を図られる。	雨水計画事業を進捗する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	想定される浸水被害の減少数 [参考：R1想定件数 2,382件]				各年度における雨水計画進捗率 【算出式：施工延長/計画延長×100】				雨水管渠等を整備した施工延長			
			単位	件			単位	%			単位	m
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	157	50	49	49	100	100	100	100	1,120	360	350	350
実績	16				10				113			
達成度	10%				10%				10%			
分析	楠葉雨水貯留管整備工事において、シールドマシンの損傷によって掘進作業が中断したため目標件数に達することができなかった。				楠葉雨水貯留管整備工事において、シールドマシンの損傷によって掘進作業が中断したため目標進捗率に達することができなかった。				楠葉雨水貯留管整備工事において、シールドマシンの損傷によって掘進作業が中断したため目標延長に達することができなかった。			

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	10.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	81,100	74,624	80,946		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	81,100	74,624	80,946		
	物件費計		2,990,487	4,409,954	470,102	1,561,862	30%
	歳出計		3,071,587	4,484,578	551,048		
歳入	国庫支出金		1,115,000	1,240,800	53,400	53,400	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		1,738,800	2,845,900	156,200	644,100	
	その他		0	61,394	85,635	85,635	
	歳入計		2,853,800	4,148,094	295,235	783,135	
一般財源			217,787	336,484	174,867	778,727	

5. 総括的分析

総括的分析	予期せぬ事態（シールドマシン故障）により進捗が遅れたが、その他は目標値に達する結果となった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	上下水道ビジョン及び下水道事業経営戦略の方針に基づき整備を進める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	雨水整備課運営事務									
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部			課	雨水整備課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	課の運営が円滑に図られている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル			

指標設定		アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明				単位				単位				単位	
指標種類													
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込み）												
	実績												
達成度													
分析													

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,031	7,725	8,773		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	470	0	0		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	8,501	7,725	8,773		
	物件費計		2,674	871	0	0	―
	歳出計		11,175	8,596	8,773		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			11,175	8,596	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	円滑な事務の執行ができている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、円滑な事務の執行に努めていく。